



140年の歴史を胸に 新たな学び舎へ

市立の2小学校が閉校

市立の下田小学校および浮島小学校は3月末で閉校し、城島小学校と統合します。全国的な少子化の動き中、2校は市内でも特に児童数の減少が続き、平成に入ってから異なる2つの学年を1学級にする複式学級となりました。その後も減少傾向は続いています。

子どもたちは集団の中で多様な考え方に触れながら、多くのことを学びます。市は、「生きる力」を育むため、小学校を統合して集団の規模を確保することが必要と判断しました。学校での児童の学習面や生活面の環境の向上を図ります。



明治6年創立 **浮島小学校**

県知事選挙と県議会議員補欠選挙を実施

あなたの1票が 福岡の未来を開く

4月11日(日)に県知事選挙と県議会議員補欠選挙を行います。福岡県の将来に向けた大切な選挙です。必ず投票に行きましょう。

投票日は
4月11日(日)
7時～20時

期日前投票
県知事選挙 3月26日(金)から
県議会議員補欠選挙 4月3日(出)から
※4月3日(出)から両選挙の投票ができます

投票所が変わります

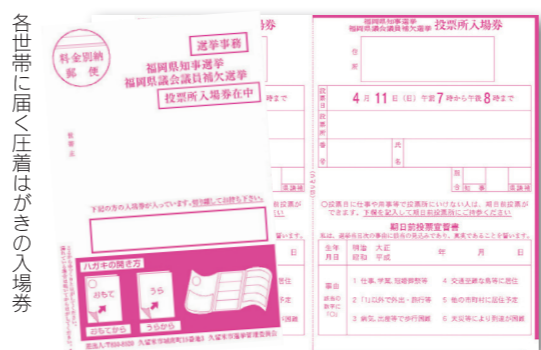
市内59カ所に投票所を設けます。前回選挙(令和元年参院選)から投票所に一部の変更があります。

投票ができる人

平成15年4月12日までに生まれた人で、令和3年1月1日までに久留米市の住民基本台帳に登録され、引き続き市内に住んでいる人。

投票の仕方

投票所の入場券を、3月25日(木)までに郵送する予定です。投票日当日は、入場券に書いてある投票所で投票してください。入場券は2人分を1枚にまとめた圧着はがきで郵送します。3人以上の場合は複数枚届きます。投票の際は圧着部分を剥がし、自分の分を切り離して持ってきてください。なくした場合は、運転免許証や健康保



各世帯に届く圧着はがきの入場券

険証など本人確認ができるもので代用できます。

会場では感染対策に協力を

来場前に検温し、投票の際には、マスクを着用してください。

投票所は、定期的な消毒と換気を行います。出入り口には手指消毒用アルコールを設置しますので、手指消毒に協力してください。投票用紙の記入には、持参した鉛筆やシャープペンシルも使用できます。

期日前投票

仕事などで投票日に行けない人は、期日前投票ができます。受付での混雑を避けるため、入場券に必要事項を記入して来場してください。

【福岡県知事選挙】

■日時 3月26日(金)から4月10日(土)までの8時30分～20時

令和2年12月25日から令和3年1月1日までの間に転入した人は、令和3年4月1日(日)から

【福岡県議会議員補欠選挙】

■日時 4月3日(出)から10日(出)までの8時30分～20時

◆ ◆ ◆
いずれも会場は本庁舎2階くろみホール、各総合支所。4月3日(出)、4日(出)、5日(出)はゆめタウン久留米でも10時から18時まで投票できます。

代理投票や郵便投票も

障害などのため、一人で投票が難しい人や投票所に行けない人が利用できる制度があります。



前回の選挙では、投票促進委員会K.Uの学生サポーターが投票を呼び掛け

【代理・点字投票】

字を書けない人は代理投票、視覚に障害のある人は点字投票ができます。いずれも投票所の受付で本人が伝えてください。

■郵便投票 重度の身体障害などで投票所に行けない人は、事前の申請で、郵便投票ができる場合があります。

対象や手続き方法など詳しくは、市ホームページや問い合わせ先に確認してください。

◎選挙管理委員会事務局 (☎0942・30・9238、FAX 0942・30・9752)

市ホームページはト「選挙管理委員会事務局」からのお知らせへ



久留米市立下田小学校

下田魂を引き継いで



毎年行う収穫祭。ついた餅は、地域の皆さんと一緒にいただきました。昨年は、感染対策も行いながらの開催でした。



地域の人の指導を受けながら、田植えを体験



最後の運動会では、最高の演技を披露しました

下田小学校は、地域とのつながりが深く、運動会や収穫祭など多くの行事を毎年地域と一緒に作り上げています。相手を思いやり、ふるさとを愛する下田魂が受け継がれてきました。

地域に愛された140年

下田小は、全校児童38人の小規模校です。毎年、田植えや収穫祭などを地域の協力の下行ってきました。橋橋閣子校長は「140年間、地域の愛情に包まれながら、共に成長してきた学校です。小規模だからこそ、全学年や地域の人と一緒に過ごすことが多く、そうして育まれた強い絆を感じます」と話します。恒例行事の田植えで使用する田んぼは、「子どもたちに農業体験をさせてあげたい」という保護者の温かい思いから、学校敷地内に造られました。閉校記念の航空写真の撮影には、100人以上が参加しました。そんな思いやりの心は、児童にも代々受け継がれています。伝統の「フレンドリー遊び」は、学年を混ぜたグループ活動で、最後に友達の良さを伝え合います。学年を超えてお互いを尊重し合い、思いやる姿勢が根付いています。

最後の歴史を築いた1年

「下田っ子で良かったとみんなが思えるようにすることを目標に、教職員、地域、子どもたちが一丸となって思い出作りに取り組んだ1年でした」と橋橋校長は話します。「コロナ禍でも、これまで行ってきた行事や集会を、感染防止の工夫をしながら全て開催。全校バスハイイクや下田小お別れ会などは、子どもたちのアイデアを生かしながら作り上げました。最後に橋橋校長は、巣立つ子どもたちに向けて、「4月からは新しい学校生活が始まります。多くの友だちと過ごす楽しさを味わって、統合のプラス面を実感してほしいと思っています。相手を思いやり、ふるさとを愛する下田魂を、これからも大切に、頑張ってください」と子どもたちにメッセージを贈りました。



休み時間は学年関係なく、みんなで遊びます



地域の人も参加し、閉校記念写真を撮影



4・5年生の授業。集中して授業を受けます

思い出とこれから。下田小児童メッセージ



下田小2年 榎本更玖君

学年が違っても仲良くしてくれる下田小学校のみんながとても好きです。4月から城島小学校へ行くことは、少し緊張するけど、交流授業で友達もできたので、楽しい気持ちが大きいです。今まで通り頑張ります。



下田小4年 古賀菜瑠美さん

地域の人たちと一緒に人文字を作り、航空写真を撮ったことが良い思い出です。4月からは不安もあるけれど、同学年の友達がたくさんいるので、楽しい気持ちもあります。楽しい思い出を作っていきたいです。

下田小学校の思い出は、運動会で披露した応援合戦です。1カ月間みんなで練習して絆を深め合うことができました。閉校するのは寂しいですが、下田小での思い出を忘れずに、今後も頑張っていきたいです。



下田小6年 野口夏希君

地域の人と行う活動もたくさんあり、顔見知りでアットホームなのが下田小の良いところ。地域に愛される下田小学校140年の歴史に幕が下りるのは悲しいですが、最後の卒業生として誇りを持って卒業します。



下田小6年 古賀果梨さん



下田小学校 校長 橋橋閣子さん

- 令和 3年 3月31日閉校
- 22年 17年 12年 8年 平成 63年
- 城島町が久留米市と合併デジタルテレビ・電子黒板を設置
- 開校
- 創立120周年記念式典
- 室に設置
- テレビ、ビデオを普通教室に設置
- 新校舎を新設



25mのプールが造られました



100周年記念に人文字を制作

- 55年 創立100周年記念式典開催
- 57年 新プールを新設
- 30年 城島町・江上村・青木村を合併し、城島町発足完全給食を実施
- 31年 校舎を新築し、鉄筋コンクリート2階建てに
- 49年 講堂を壊して、体育館を新築
- 28年 大洪水により大きな被害を受ける
- 23年 給食室を新築
- 22年 下田小学校と改称
- 16年 昭和 下田国民学校と改称
- 14年 城島小学校芦塚分校に
- 19年 芦塚簡易小学校と改称
- 24年 芦塚尋常小学校と改称
- 30年 下田尋常小学校と改称校舎を現在地に新築



芦塚村出丸に建っていた旧校舎

- 13年 明治 下田小学校の沿革
- 芦塚村出丸19番地の2
- 芦塚小学校創立

思い出とこれから。浮島小児童メッセージ



浮島小学校での思い出はドリニックでみんなで泥まみれになったことや、学年を超えて昼休みにサッカーをしたことです。4月から新しい学校で不安もあるけど、友達をたくさん作りたいと思います。



浮島小学校での一番の思い出は持久走大会です。毎年速くなって、目標も達成したのでうれしかったです。交流授業では、大人気でサッカーができて楽しかったです。4月からは友達作りを頑張りたいです。



今年で卒業になりますが、自然が豊かな浮島小学校が好きです。歴史を感じる校舎が、これから使われなくなることが少しさみしいなと思います。中学校に進学しても元気に頑張りたいと思います。



浮島小学校の思い出はエツ漁体験です。実際に船に乗り、網で取るところを間近で見ました。浮島小学校は少人数なので、発表する場も多かったのですが、その経験を今後も生かしたいです。



授業風景。みんな話をよく聞きます



閉校の思い出に人文字を作成



田植えて上級生が下級生に手本を示します



ときは、別の学年は、自分たちで考えながら学習を進めます。野田校長は「少人数の良さはきめ細かい指導ができることその他に、自分たちで学ぶ姿勢が確実に身に付くことです」と話します。その力は、学年を超えた活動でも生かされます。言われなくても、上級生が下級生のサポートに進んで取り組むのは浮島小の伝統です。野田校長も「城島小に行っても、浮島小で身に付けた伝統の学びの力は、ぜひ持ち続けてほしい」と語ります。統合について野田校長は「子どもたちにとってプラスになることが大事です。人数が多い中で、他人の意見も聞いて学んでいくことは良い経験になると思います。交流授業で児童から、新しいつながりができた、行くのが楽しみという話を聞きました。浮島小で蓄えた力と地域の思いが支えになると信じています」と結びました。



全校児童にMY一輪車。上級生が下級生に配慮するのは日常風景



息を合わせてダンス。最後の運動会では団結し最後まで輝け！をテーマに頑張りました



久留米市立浮島小学校

みんなよく守られて

浮島小学校は、校庭が全面芝生の自然に恵まれた環境にあります。明治初期から続く歴史のある学校です。

豊かな自然を生かした学び

浮島小は、全校児童22人で、全学年2学年ずつの複式学級です。平成19年に初めて複式学級となり、以降、現在まで続いています。今後も、年々、児童数は減少していく見込みでした。学校は豊かな自然の下、地域の協力を得て、一年を通しさまざまな体験活動をしています。田植えやエツ漁体験や地域との合同運動会など数多くの学校活動を保護者、地域が一丸となって支えます。野田校長は「最後の一年だからこそ、今年度はコロナ禍であっても、対策をするなどの工夫をして、できる限りの活動をさせてあげたかった。学校や保護者だけでなく、地域の惜しみない協力があったからこそできました」と話します。地域の温かいまなざしを受け、子どもたちはふるさとの良さを学んでいきます。

少人数の良さが伝統にも

複式学級では、学年ごとに先生が交互に授業を行います。一つの学年に先生が直接指導する

浮島小学校の沿革

- 6年 明治 創立。私立新家小と称し、第9代菊池要三郎宅を借りて授業
- 13年 浮島分校設立
- 19年 浮島小学校簡易科と改称
- 23年 浮島尋常小学校と改称
- 34年 現在地に校舎移転
- 昭和 16年 浮島国民学校と改称
- 21年 浮島小学校と改称
- 28年 大洪水により大きな被害を受ける
- 32年 学校用地北側埋め立て
- 41年 鉄筋2階建て校舎改築
- 45年 プールを新築
- 47年 体育館を新築
- 48年 創立100周年記念。校門改築、運動場緑化
- 59年 浮島明神350周年を記念して、校旗制作
- 昭和 42年 昭和42年時の浮島小



現在の正門。100周年のプレートも



昭和59年時の浮島小

10年 平成 正門を移設

- 17年 城島町が久留米市と合併
- 19年 普通教室を複式教室へ改修(1・2年)
- 26年 創立40周年記念式典開催
- 27年 平成27年度優れた「地域による学校支援活動」推進にかかる文部科学大臣賞受賞
- 3年 令和 3月31日閉校

くるめ学生通信

大学生が、久留米市の仕事を取材し、発信するシリーズです

57 雇用を生み出す企業誘致(最終回) 今回の記者: 聖マリア学院大学(2年) 安坂優汰さん



市内の産業団地は15団地。現在空きがあるのは「久留米・うきは工業団地」の2区画のみです

——企業誘致推進課はどのような仕事をしていますか。
久留米市に工場の建設やオフィスの進出をしてもらえよう、市内外の企業に働き掛けることが主な仕事です。企業に久留米の魅力を発信したり、訪問して情報を収集したりします。工場を建設する産業団地の整備もしています。

——どのように誘致を行っていますか。
企業を訪問して、久留米に事業所を設ける魅力や利点を説明します。毎年東京や大阪などの大都市圏でセミナーを開催して、進出した企業による講演や市長によるトップセールスで、久留米の恵まれた立地環境、人材などの魅力を発信しています。今年は新型コロナウイルスの影響によりオンラインで開催しま

田主丸町に、資生堂の大きな工場が建設されています。企業誘致のために、市がどのような取り組みをしているのか、企業誘致推進課の小形孝徳さんに聞きました。

——市にはこれまで何社進出していますか。
2月末時点で、市内15カ所の公的な産業団地に150社進出しています。現在14カ所の産業団地が完売の状態です。特に製造業が多く、平成31年2月には、化粧品で有名な資生堂の進出が決定しました。より多くの企業に進出してもらえよう、新たな産業団地の整備に着手しています。

——企業を誘致すること、どんなメリットがありますか。
働く場所を確保することができ、150社が久留米市に進出したことで、6900人の



地域の活性化にも深く関わることを知りました

——企業に対する働き掛けが、雇用の増加や働きやすい環境づくりにつながると思います。働く場所が増えることで、より魅力のある久留米になってほしいです。
◎広報戦略課 (☎0942・309119、FAX0942・309702)

雇用の方が生み出されました。子育て世代やひとり親家庭など、勤務時間が限られた人にも配慮して、多様な働き方に対応している企業もあります。企業の進出により市内の他企業との取引が始まり、地域経済も活性化します。工場やオフィスが市内に増えることで、固定資産税や法人市民税などの税収の増加も期待できます。



市長が企業向けに市の魅力をPR。今年2月はオンラインで開催しました

期待膨らむ 新たな学校生活

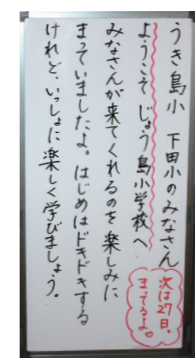


交流授業の休み時間には、3校の児童と一緒に笑顔で遊ぶ姿が見られました。すぐに仲良くなり、新しい友達に会うのが楽しみという声も

今回の下田・浮島・城島の統合は、子どもたちにとってより良い教育環境を整えるための取り組みです。
地域も共に考える
市教育委員会は平成31年1月、下田小と浮島小を城島小に統合する計画案を作成。3校が1校になると、全学年が複数クラスの望ましい学校規模が実現します。市教委は城島町5校区で説明会を開催。12月からは、対象小学校で勉強会や意見交換会を行いました。保護者や地域、市教委で統合の目的や子どもたちへの影響について話し合いま



たくさんのお友達と一緒に授業を受ける楽しさを知りました



昇降口には迎える言葉

新しい友達と笑顔で
昨年10月から3校の児童が一緒に学ぶ交流授業を行いました。授業の初めに自己紹介などをして、緊張していた児童もすぐに笑顔に。2校の児童には、城島小の児童が学校を案内しました。初回は2時間、次は給食まで

した。子どもたちにとって最も良い選択は何か、協議を積み重ね、統合が決定。昨年7月、3校に保護者や地域、校長、市で構成される「統合準備協議会」を設置。各校、統合に向けて、スクールバスの運行や交流授業などの協議を進めてきました。

これから一緒に学ぶみんなへ

交流授業では、勉強の他にもいろいろな話をして打ち解けました。4月からはどの学年にも新しい仲間が増えます。緊張していると思うので、最高学年としてみんなでサポートしていきたいです。

城島小5年 ライランダー 杏奈さん

市ホームページは「下田小・浮島小」は「城島小」に統合します。詳しくはQRコードをご覧ください。

◎学校教育課 (☎0942・309217、FAX0942・309719)

全ては子どもたちのために
統合に向けて、「子どものために一番いいこと」を考えて準備を進めています。下田小・浮島小は、保護者や地域に大切にされ、長い歴史を刻んできました。城島小も同じです。3校は4月から新たなステージへと向かいます。児童が大きな変化の中で、安心して過ごしていくことができるよう、本校職員は、精いっぱい準備をしています。その努力はこれからも続きます。交流授業は、子どもたちにとっていい出会いとなりました。それでも、不安に思っている人もいます。城島小の子どもたちは、友達になるのを楽しみにしています。心配なことは、みんなで解決していきましょう。一緒に城島小学校の新しい歴史を始めたいと思っています。



城島小学校 校長 樋口恵子さん